北海道医師会館９階理事会室

第６回常任理事会

日　時　令和８年６月９日（火）17：58～18：40
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・髙橋・寺本・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）菅田常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座８件を承認することと決定。

報告事項

１．都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会［５月28日（木）・Web併用］について（寺本常任理事）

全国医師会勤務医部会連絡協議会について、昨年度担当の岩手県医師会からの開催報告と今年度担当の大分県医師会から挨拶があった後、「勤務医の医師会活動へのさらなる参画」をテーマに日医勤務医委員会答申の内容紹介、新たな地域医療構想を巡る動き、医師会組織強化に向けた取り組みについて協議し、それぞれ活発なディスカッションが行われた。

２．北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション［５月31日（日）］について（佐古副会長）

合同プレゼンテーション参加病院・学会数は58（医育大学３、臨床研修病院52、学会ほか機関３）であった。来場医学生の総数は290名であった。

３．屋根瓦塾2026北海道［５月31日（日）・札幌市］について（髙橋常任理事）

臨床研修病院の初期研修医を対象に、臨床研修病院合同プレゼンテーション終了後に開催した。市立函館病院救命救急センター・守田晴輝先生、北海道大学大学院医学研究院整形外科学教室・村上相登先生ならびに小職によるQ&Aセッションを実施し、三大学より推薦されたファシリテーターとともにグループワークを行った。受講者は初期研修医１年目20名、２年目６名の合計26名であった。

４．外部各委員会報告

⑴　第１回北海道がん対策推進委員会［５月22日（金）・Web併用］について（松家会長）

北海道がん対策推進委員会に係る各部会の開催状況について報告後、北海道がん対策推進計画の進捗状況、令和８年度のがん対策の主な取組（予定）、同計画の中間評価、がん医療提供体制の均てん化・集約化の検討等について協議した後、意見交換が行われた。

⑵　北海道医療対策協議会「第１回地域医療を担う医師養成検討分科会」、「第１回専門医制度等検討分科会」、「第１回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会」、「第１回地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会」、「第１回専門医制度等に関する検討委員会」［５月28日（木）・Web併用］について（佐古副会長）

２分科会ならびに３委員会が合同で開催され、第２期北海道医師確保計画の推進状況や次期計画の策定内容、診療所承継・開業支援事業の新規対象診療所、医師養成確保修学資金貸付制度の改正について説明があり、協議を行った。また、令和９年度専攻医募集に係るシーリングにおいて、北海道では麻酔科に加え、新たに脳神経外科が対象となったことを受け、全国データとの比較による本道の脳神経外科医の実態調査結果について報告があった。本道では、脳血管疾患の多くを脳神経外科医が診療している一方、脳神経外科医は減少・高齢化しており、広域分散型の地域特性や冬期間の患者搬送への影響等を踏まえ、現状に即したシーリング設定となるよう国に求める必要がある旨の説明があった。

⑶　第１回北海道難聴児支援推進協議会［６月３日（水）］について（末岡常任理事）

本協議会が難聴児支援の中核的機能を推進していくため、今年度の目標設定とスケジュールについて説明があり、目標達成に向けた論点を６項目に整理し、札幌大学地域共創学群人間社会学域総合教育学系教授・小嶋義勝座長の進行により、論点①特別支援学校による家族支援、②市町村等による家族支援、③巡回支援及び研修・啓発の３項目について意見交換が行われた。次回は残りの３項目について協議する予定。

⑷　第１回北海道医療勤務環境改善支援センター運営協議会［６月８日（月）］について（長谷部常任理事）

昨年度の支援回数等の活動実績の報告の後、今年度の事業計画について協議したほか、特定労務管理対象機関の指定状況等について情報提供があった。

５．中央情勢報告

「第172回定時代議員会　報告⑶『当面の医療政策』」について（荒木常任理事ほか）

小職から「春の建議に向けた議論等を踏まえた総論」および「新たな地域医療構想」について、また、鈴木副会長から「控除対象外消費税」について報告する旨を説明した。

第８回常任理事会

日　時　令和８年６月23日（火）18：00～18：30
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、佐古・鈴木両副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）菅田常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者11名、更新申請者79名を承認し、日医へ申請することと決定。

第２号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（末岡常任理事）

認定要件を満たした更新申請者２名を承認し、日医へ申請することと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件（村上常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座４件を承認することと決定。

第４号　その他

⑴　７月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．都道府県医師会地域医療構想策定等ガイドライン説明会［６月12日（金）］について（荒木常任理事）

日医・松本会長の挨拶の後、厚生労働省より新たな地域医療構想策定ガイドラインの発出に向けた地域医療構想の考え方等について説明があり、参加者との間で活発な意見交換が行われた。

２．第１回勤務医部会運営委員会・第２回若手医師専門委員会［６月14日（日）］について（寺本常任理事）

第１回若手医師専門委員会および日本医師会の勤務医関連会議について報告を行った後、令和９年度地域医療現況調査の実施に向け、これまでの課題を整理し、今後の方向性について協議した。各委員からは、調査を継続する意義の明確化や回答率向上への工夫、報告書作成に伴う執筆負担の軽減等、さまざまな観点から意見があった。特に、調査を行う目的について改めて整理する必要があるとの認識が共有され、次回委員会で引き続き検討することとした。

３．外部各委員会報告

⑴　第１回道南ドクターヘリ運航調整委員会［６月19日（金）・Web］について（白崎常任理事）

委員長に札幌医科大学救急医学講座教授・成松英智委員を選任した後、令和７年度の出動件数の推移や市町村別の出動・要請件数について報告があった。また、令和８年４月から格納庫の場所が変更となったことから、運航要領の一部改正について協議し、承認された。

道総医協関連事項（松家会長）

１．第１回地域医療専門委員会［６月９日（火）］について（佐古副会長）

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学教授・辻喜久委員を選出した後、５小委員会（看護対策、周産期・小児医療、医療施設整備等、在宅医療、薬剤師確保対策）の委員構成、今年度の協議事項、病床数適正化支援事業について報告があった。その後、地域医療構想や北海道医療計画の中間見直し、かかりつけ医機能報告制度の説明があり、意見交換を行った。

２．第１回救急医療専門委員会［６月９日（火）］について（鈴木副会長）

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学教授・成松英智委員を選任した後、救急告示医療機関審査小委員会の委員を指名し承認した。その後、災害拠点病院の新規指定について協議したほか、北海道医療計画の進捗状況と評価、メディカルウイングおよびドクターヘリの運航実績、小児救急医療体制、災害医療体制、北海道DMAT実動訓練の実施結果等の報告があった。

３．第１回地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会（第１回慢性腎臓病対策連絡会議）［６月10日（水）］について（長谷部常任理事）

慢性腎臓病対策連絡会議では、北海道医療計画の進捗状況・評価（慢性腎臓病部分）について協議した後、北海道における透析導入患者数が減少傾向にあることや今年度の取組予定について確認した。引き続き開催された地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会では、北海道医療計画の進捗状況・評価（糖尿病部分）と中間見直しについて協議した。